

転倒・転落発生率

a)入院患者の転倒・転落発生率

b)入院患者の転倒転落によるインシデント・アクシデント影響度分類レベル3b以上の発生率

【指標の説明】

転倒・転落の指標としては、転倒・転落によって患者に障害が発生した損傷発生率と、患者への傷害に至らなかった転倒・転落事例の発生率との両者を指標することに意味があります。転倒・転落による傷害発生事例の件数は少なくとも、それより多く発生している傷害に至らなかった事例もあわせて報告して発生件数を追跡するとともに、それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなります。こうした事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

【定義・計算方法】

a)

$$\frac{\text{入院中の患者に発生した転倒・転落件数}}{\text{入院患者延べ数}} \times 1000 \text{ (‰)}$$

【定義・計算方法】

b)

$$\frac{\text{入院中の患者に発生したインシデント・アクシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落件数}}{\text{入院患者延べ数}} \times 1000 \text{ (‰)}$$

【データ収集期間】

1ヶ月毎

【データ抽出方法】

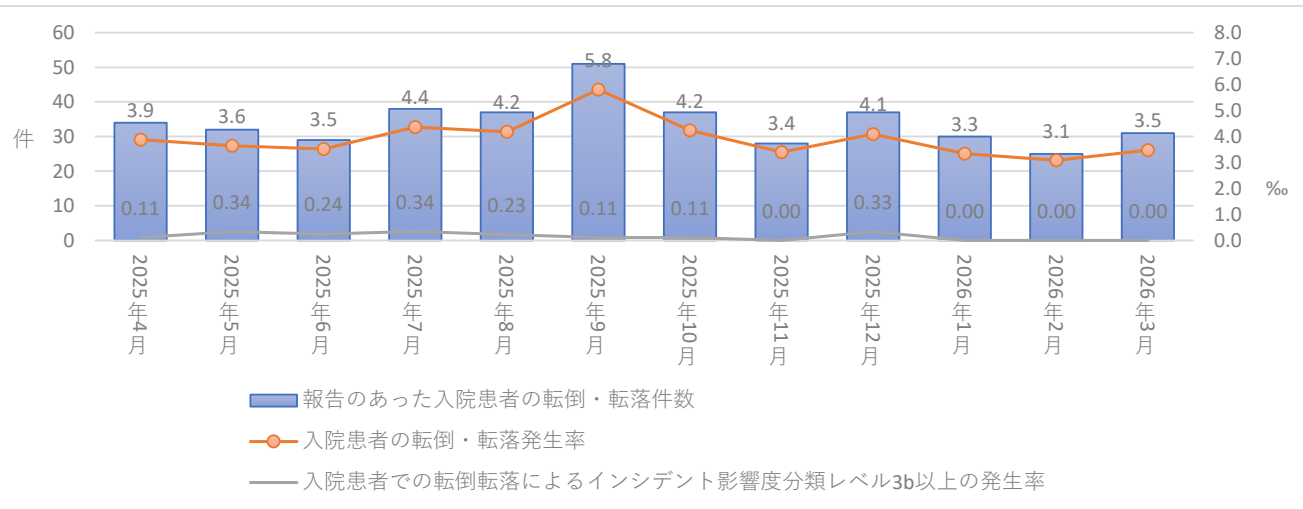
分子：a) 転倒転落テンプレートが作成された数

b) インシデント登録された3b以上の転倒転落報告数

分母：医事統計

【値の解釈】

アウトカム / より低い値が望ましい



【年次推移】

